

韓国農林畜産食品部プレスリリース（2018年4月5日19時09分付け）

金浦・江華（カンファ）地域の防疫強化と緊急防疫費サポート  
—江華郡の移動制限の延長、金浦・江華2回目ワクチン接種早期実施—

出典URL:

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE8JTJGYmJzJTJGbwFmcmEIMkY20CUyRjMxNzI3NiUyRmFydGNsVmIldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJTl2aXNWaWV3TWluZSUzRGZhbHNIJTl2cmdzRW5kZGVtdHI1MQQIMjZwYWdlJTNEMSUyNmJic09wZW5XcmRTZXE1MQQIMjZyZ3NCZ25kZVNOciUzRCUyNnNyY2hXcmQ1MQQIMjZwYXNzd29yZCUzRCUyNnNyY2hDb2x1bW41MQQIMjZyb3c1MQQxMCUyNg%3D%3D>

（機械翻訳などに基づく仮訳）

◆ 金浦・江華地域の口蹄疫防疫強化措置

- 江華郡の移動制限1週間延長（3月27日～4月9日→3月27日～4月16日）、金浦・江華地域における2回目ワクチン接種早期実施、ハンドン（注：国産豚肉）協会主管特別消毒キャンペーン実施、民間防疫専門家の現場派遣など

※緊急口蹄疫の専門家協議会の開催（4月5日、10：30～12：30）

※参加者：検疫本部動物疾病管理部長、韓国養豚獣医師会会長、大韓ハンドン協会会長、養豚研究会会長、オプティファーム社（注：製薬会社）代表、イージーバイオ社（注：飼料添加物開発会社）の代表者、先進養豚BU代表など

- ◆ 防疫管理に必要な家畜伝染病緊急防疫費サポート（1億ウォン（約1000万円）、農食品部）

- 農林畜産食品部（以下、「農食品部」）は、京畿道金浦市でA型口蹄疫が発生し、感染抗体（NSP抗体）が追加で検出されたため、5日午前農食品部の口蹄疫・AI状況室で緊急口蹄疫の専門家協議会を開催して追加防疫管理案を議論した。

- 今回の協議会に出席した専門家は、金浦市の感染抗体（NSP抗体）の追加検出原因を金浦市にウイルスが残っているためと推定し、追加防疫措置を提案した。

- 協議会に出席した専門家は、まず全国の偶蹄類家畜の農場間の移動禁止措置について、京畿道金浦市で追加発生が認められたこと、感染抗体検出が認められたこと、江華郡の地理的特性を考慮すると、江華郡については、既存の移動禁止措置の延長が必要だという意見を提示した。

※金浦市は、緊急行動指針に基づいて発生地域の移動制限措置を維持中

- 特に、江華郡は金浦市を經由しないと内陸に移動できないため、金浦市周辺が汚染された可能性を考慮して、移動禁止措置がしばらく維持されるべきだとした。

- また、金浦・江華地域の豚農場には、緊急性を勘案して、A型ワクチンの2回接種時期を当初の計画（4月24日～26日）より早め4月20日から実施するよう勧告した。  
※金浦・江華地域の1回目接種は3月27日～29日、2回目接種は、通常4週間後の実施
- 他にも、金浦農場や主要道路一斉消毒など防疫措置があったが、金浦・江華地域に残る可能性のあるウイルス除去のために、民間主導で特別消毒を実施し、脆弱な要因を管理するための専門家のサポートが必要だという意見を出した。
- 農食品部は、今回の専門家協議会で勧告された事項を検討して江華郡の偶蹄類家畜農場間の移動禁止を1週間延長し、金浦・江華地域の2回目ワクチン接種も4月20日から早期に実施することにした。  
※全国偶蹄類家畜農場間の移動を禁止（3月27日～4月9日）、ただし、江華郡は1週間延長（～4月16日）
- ただし、江華郡内で農場間の家畜の移動は可能にし、飼育施設の不足などによるやむを得ない他の市・郡への移動は、家畜防疫官の検査を経て、限定的に許容することにした。  
※家畜防疫官の臨床観察、精密検査で異常がない場合に限り、移動承認書の発行を受け移動し、到着該当地域では、2週間の移動禁止と臨床観察（毎日実施）
- 併せて、ハンドン協会主管で「金浦・江華地域の豚農場一斉清掃や特別消毒キャンペーン」を4月6日から10日間（4月6日～4月15日）実施し、防疫脆弱要因を事前にチェックすることができるよう、民間の防疫専門家を現場に派遣する計画だと明らかにした。
- 一方、農食品部は、今回の口蹄疫発生地域の防疫強化のため、消毒薬購入等に必要な緊急家畜防疫費1億ウォン（約1000万円）本日金浦に緊急支援する計画。